平成25年11月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年４月１日

上場会社名　イーサポートリンク株式会社　上場取引所　大
コード番号　2493　ＵＲＬ　http://www.e-supportlink.com/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）堀内 信介
問合せ先責任者　（役職名）取締役　（氏名）仲村 淳　ＴＥＬ　03-5979-0784
四半期報告書提出予定日　平成25年４月12日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年11月期第１四半期の連結業績（平成24年12月１日～平成25年２月28日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年11月期第１四半期	1,009	0.7	144	19.6	143	23.6	80	△24.7
24年11月期第１四半期	1,002	3.0	120	61.2	116	63.8	107	111.9

（注）包括利益　25年11月期第１四半期　82百万円（△23.3%）　24年11月期第１四半期　107百万円（113.7%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年11月期第１四半期	1,822.94	－
24年11月期第１四半期	2,421.77	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年11月期第１四半期	4,532	2,545	56.2
24年11月期	4,334	2,463	56.8

（参考）自己資本　25年11月期第１四半期　2,545百万円　24年11月期　2,463百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年11月期	－	0.00	－	0.00	0.00
25年11月期	－				
25年11月期（予想）		0.00	－	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成25年11月期の連結業績予想（平成24年12月１日～平成25年11月30日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	2,191	3.9	238	△14.3	229	△15.3	213	△15.3	48.27
通期	4,387	2.3	448	△8.5	428	△9.7	389	△11.4	88.00

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　有

（注）詳細については、四半期決算短信（添付資料）３ページ「２.サマリー情報（注記事項）に関する事項（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　有

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　有

④　修正再表示　：　無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細については、四半期決算短信（添付資料）３ページ「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年11月期１Ｑ	44,248株	24年11月期	44,248株
②　期末自己株式数	25年11月期１Ｑ	－株	24年11月期	－株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年11月期１Ｑ	44,248株	24年11月期１Ｑ	44,248株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

１．本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

２．株式分割後の業績予想について

当社は、平成25年１月11日開催の取締役会において、株式分割及び単元株制度の採用について決議し、平成25年６月１日を効力発生日として、普通株式１株を100株へ分割し、単元株式数を100株とすることとしております。これに伴い、平成25年11月期の業績予想における１株当たり当期純利益は、当該株式分割が期首に行われると仮定して算定しております。

株式分割考慮前に換算した平成25年11月期の連結業績予想は以下のとおりであります。

１株当たり当期純利益（株式分割考慮前）

第２四半期（累計）　4,826円65銭

通期　8,799円55銭

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（６）重要な後発事象 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安及び株高の進行により景気回復が期待される中、企業収益に下げ止まりの兆しがみられる一方で、雇用情勢に厳しさが残っております。

生鮮青果物流通業界におきましては、バナナの輸入量は前年を下回る水準で推移し、小売業の店舗調整後の食料品販売額は前年を下回る水準で推移いたしました。またＩＴ関連投資に関する国内売上高は概ね前年並みで推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、「全ては生産者と生活者のために」を経営理念に掲げ、「食の流通情報を活用し、生産者の暮らしを支え、生活者の食生活に貢献する」企業グループを目指しております。この実現に向けて、事業基盤の強化に向けた業務受託における生産性の向上や総合的なサービスレベルの向上等に継続して取り組むとともに、当社が強みを持つサービスの拡販営業活動を推進し、新規顧客獲得に努めてまいりました。

こうした中、生鮮ＭＤシステム通過高の増加、減価償却費の減少等により、前年同期と比較して営業利益及び経常利益は増益となったものの、四半期純利益は税金費用の増加により前年同期と比較して減益となりました。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は10億９百万円（前年同期比0.7％増）、営業利益は１億44百万円（同19.6％増）、経常利益は１億43百万円（同23.6％増）、四半期純利益は80百万円（同24.7％減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

（システム事業）

システム事業におきましては、主として流通における情報システムの提供を行っております。提供サービスに関わるソフトウェア、ハードウェアなどの保守・機能拡張を実施し、サービスレベル向上や災害対応力強化に努めております。

輸入青果物サプライチェーン向けに提供するイーサポートリンクシステムにおきましては、現行システムの安定運用を継続するとともに、近年の多様化する顧客ニーズへの一層の対応を目指し、再構築版のリリースに向け開発を進めてまいりました。大手量販店及び取引先向けに提供する生鮮ＭＤシステムにおきましては、利用取引先数、データ件数を増加させてまいりました。

以上の結果、売上高は５億39百万円（前年同期比6.0％増）、セグメント利益は２億１百万円（同31.1％増）となりました。

（業務受託事業）

業務受託事業におきましては、主としてサプライチェーンにおける流通オペレーション機能を提供し、生産性向上による更なる流通合理化に努めております。バナナの輸入量減少等の理由による業務受託の処理量が減少する中、サプライチェーンの流通合理化を実現するため、オペレーション効率化、人員配置適正化、災害対応力強化などを進めてまいりました。

以上の結果、売上高は４億55百万円（前年同期比3.5％減）、セグメント利益は１億55百万円（同10.3％減）となりました。

（農産物販売事業）

農産物販売事業におきましては、生産者との連携強化及び販路の拡大、収益力の改善に努めてまいりましたが、収支均衡には至りませんでした。

以上の結果、売上高は13百万円（前年同期比34.2％減）、セグメント損失は５百万円（前年同期はセグメント損失12百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産の部

当第１四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末と比べて１億98百万円増加し、45億32百万円（前連結会計年度末比4.6％増）となりました。

内訳としては、流動資産が27億34百万円（同2.8％減）、固定資産が17億94百万円（同18.3％増）、繰延資産が３百万円（同16.8％減）となりました。

流動資産の主な減少要因は、仕掛品が25百万円、前渡金が30百万円増加した一方、現金及び預金が１億11百万円、売掛金が31百万円減少したことによるものです。

固定資産の主な増加要因は、有形固定資産のリース資産が２億17百万円、ソフトウエア仮勘定が88百万円増加した一方、ソフトウエアが17百万円減少したことによるものです。

② 負債の部

当第１四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末と比べて１億15百万円増加し、19億87百万円（同6.2%増）となりました。

内訳としては、流動負債が10億43百万円（同3.1%減）、固定負債が９億43百万円（同18.8%増）となりました。

流動負債の主な減少要因は、未払金が１億48百万円、未払費用が１億53百万円減少したことによるものです。

固定負債の主な増加要因は、リース債務が１億89百万円増加した一方、社債が20百万円、長期借入金が28百万円減少したことによるものです。

③ 純資産の部

当第１四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末と比べて82百万円増加し、25億45百万円（同3.4%増）となりました。

この結果、自己資本比率は56.2%となりました。

その主な増加要因は、四半期純利益を80百万円計上したことによるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年11月期の業績予想につきましては、平成25年１月11日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

減価償却方法の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年12月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第１四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年11月30日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年２月28日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,069,875	1,958,781
売掛金	391,341	360,064
有価証券	99,971	99,972
商品及び製品	278	1,859
仕掛品	10,991	36,631
原材料及び貯蔵品	5,514	5,896
その他	235,532	272,240
貸倒引当金	△570	△637
流動資産合計	2,812,934	2,734,809
固定資産		
有形固定資産	274,989	485,444
無形固定資産		
ソフトウエア	176,568	159,200
ソフトウエア仮勘定	690,222	778,256
その他	25,255	22,862
無形固定資産合計	892,045	960,319
投資その他の資産		
その他	415,780	414,179
貸倒引当金	△65,529	△65,303
投資その他の資産合計	350,251	348,876
固定資産合計	1,517,286	1,794,639
繰延資産	4,240	3,526
資産合計	4,334,461	4,532,975
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,121	7,257
短期借入金	310,000	340,000
1年内償還予定の社債	80,000	80,000
1年内返済予定の長期借入金	73,600	93,600
未払法人税等	15,255	66,853
賞与引当金	－	60,168
その他	596,344	395,616
流動負債合計	1,077,321	1,043,495
固定負債		
社債	130,000	110,000
長期借入金	287,200	258,800
退職給付引当金	268,180	277,033
資産除去債務	38,892	39,020
その他	69,781	258,855
固定負債合計	794,054	943,710
負債合計	1,871,376	1,987,205

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年11月30日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年２月28日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,721,514	2,721,514
資本剰余金	620,675	620,675
利益剰余金	△880,112	△799,450
株主資本合計	2,462,077	2,542,738
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,007	3,031
その他の包括利益累計額合計	1,007	3,031
純資産合計	2,463,084	2,545,769
負債純資産合計	4,334,461	4,532,975

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年12月１日 至　平成24年２月29日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年12月１日 至　平成25年２月28日）
売上高	1,002,005	1,009,009
売上原価	602,450	564,937
売上総利益	399,554	444,072
販売費及び一般管理費	279,024	299,958
営業利益	120,529	144,114
営業外収益		
受取利息	166	218
業務受託料	1,502	1,650
投資事業組合運用益	－	2,044
損害賠償金	－	1,607
その他	715	157
営業外収益合計	2,384	5,677
営業外費用		
支払利息	3,636	4,403
その他	3,072	1,811
営業外費用合計	6,709	6,214
経常利益	116,205	143,577
特別利益		
固定資産売却益	－	532
特別利益合計	－	532
特別損失		
リース解約損	236	439
特別損失合計	236	439
税金等調整前四半期純利益	115,968	143,670
法人税等	8,810	63,008
少数株主損益調整前四半期純利益	107,158	80,661
四半期純利益	107,158	80,661

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年12月１日 至　平成24年２月29日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年12月１日 至　平成25年２月28日）
少数株主損益調整前四半期純利益	107,158	80,661
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	600	2,023
その他の包括利益合計	600	2,023
四半期包括利益	107,758	82,684
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	107,758	82,684

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）セグメント情報等
Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　平成23年12月１日　至　平成24年２月29日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	システム事業	業務受託事業	農産物販売事業	合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
売上高						
外部顧客への売上高	509,462	471,979	20,562	1,002,005	－	1,002,005
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,551	1,896	3,461	6,909	△6,909	－
計	511,014	473,875	24,024	1,008,914	△6,909	1,002,005
セグメント利益又は損失（△）	153,874	172,875	△12,228	314,521	△193,991	120,529

（注）１　セグメント利益又は損失の調整額△193,991千円には、セグメント間取引消去3,213千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△197,205千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
２　セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　平成24年12月１日　至　平成25年２月28日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	システム事業	業務受託事業	農産物販売事業	合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
売上高						
外部顧客への売上高	539,852	455,622	13,535	1,009,009	－	1,009,009
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,339	2,210	4,893	8,444	△8,444	－
計	541,191	457,832	18,429	1,017,453	△8,444	1,009,009
セグメント利益又は損失（△）	201,671	155,111	△5,734	351,048	△206,934	144,114

（注）１　セグメント利益又は損失の調整額△206,934千円には、セグメント間取引消去3,239千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△210,174千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
２　セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）重要な後発事象
該当事項はありません。